

各 位

2022年10月17日

紀伊半島から得られた2種のヒトデ類が国内から2例目となる標本に基づいた記録として学術誌に掲載されました。



写真1：串本町から採集されたイバラスナヒトデ *Luidia savignyi* の生体画像

この度、紀伊半島西南岸から得られた2種のヒトデ類が標本に基づいた記録としては国内から2例目であることが判明し、外部形態と併せて新産地を報告した論文が公表されましたのでお知らせいたします。

また、本年10月には串本町から新たにケムシヒトデが得られましたので、論文の公表に合わせて生体展示を行います。※イバラスナヒトデの展示は行っておりません。

経 緯

2019年12月30日に展示生物の採集を行っていた当館職員の平林が水深13.4 mの地点から見慣れ無いヒトデを採集し、ヒトデ類の分類を専門とする国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 主幹研究員の木暮陽一 博士が精査したところ、国内では沖縄県から1標本が知られるのみの「イバラスナヒトデ *Luidia savignyi*」であることが判明しました。また、木暮博士の調査の結果、1975年にすさみ町で採集され、大阪市立自然史博物館に紀州産未同定種のヒトデ類として収蔵されていた標本の1つが国内では小笠原諸島の兄島からのみ記録されている「ケムシヒトデ *Chaetaster moorei*」であることが判明しました。

これら2種のヒトデ類はいずれも暖かい海域に生息する南方系種であり、紀伊半島から初記録であると同時に、標本に基づいた記録としては国内から2例目となります。また、今回紀伊半島からこれらの種が得られたことにより、両種とも分布の北限を大幅に更新する結果となりました。

本成果は2022年9月20日出版の *Biogeography*（日本生物地理学会の発行する国際学術誌）24号に掲載されました。

さらに、本年10月3日には串本町田並沖の水深18mからケムシヒトデ1個体がイセエビ刺し網漁により混獲されました。本標本は串本町から初記録であると同時に、大阪市立自然史博物館に収蔵されていた1975年採集の標本（すさみ町産）以来、紀伊半島から47年ぶりの再発見となります。

串本海中公園では、論文の公表に合わせてケムシヒトデの生体展示も行います。

2種のヒトデ類について

○イバラスナヒトデ *Luidia savignyi* (Audouin, 1826)

スナヒトデ科に属する中型のヒトデの1種。長さの異なる6本の腕*1を持ち、和名に「イバラ」とあるとおり、反口側*2の体表に散在する鋭く尖った長く頑強な棘が特徴。

本種はインド洋から西太平洋までの水深50 m以浅から記録されており、国内では沖縄県嘉手納町沿岸の水深10–12 mからわずかに1標本が得られているのみでした。

今回串本町から得られた標本は沖縄の標本と外部形態がよく一致しており、両者とも6本の腕の長さが明らかに異なっていたことなどから、論文中では本種が腕を自切*3することによって無性的に個体数を増やす可能性についても示唆されました。

○ケムシヒトデ *Chaetaster moorei* Bell, 1894

ケムシヒトデ科に属するヒトデの1種。盤*4は小さく5本の細くて長い腕を持つ。和名に「ケムシ」とあるとおり、体表は多数の鋭い小棘で覆われ、そのうちいくつかは明瞭に

細く長いことが特徴です。

本種は南シナ海，ニューカレドニア，タスマニア海から記録されており，国内では小笠原諸島の兄島から1標本が得られているのみでした．今回，論文中では1975年2月にすさみ町で採集された個体に基づいて新産地報告がなされましたが，本年10月3日には串本町田並沖より，紀伊半島から47年ぶりの再発見となる個体が採集されました．



写真2：2022年10月に串本町で採集されたケムシヒトデ *Chaetaster moorei* の生体画像

展 望

今回報告された2種のヒトデ類はいずれも国内ではほとんど目にすることのないとても稀な種といえます．イバラスナヒトデにつきましては2019年以降，串本から新たな個体は採集できていないため現在展示は行っていませんが，幸いにも今回，論文の公表に示し合わせたかのようにケムシヒトデの生体が採集されるというミラクルに恵まれました．

両種ともその生態にはまだまだ不明な点が多いことから，今回の展示を通して，多くの方にケムシヒトデについて知っていただくと同時に，本種の生態の解明にもつなげていきたいと考えています．

用語解説

腕*1：ヒトデを「人の手」になぞらえた際の指にあたる部分。

反口側*2：ヒトデの上側。ヒトデ類は体の下側に口があるため、口とは反対側の上側のことを反口側という。

自切*3：自ら体の一部を切り離すこと。

盤*4：ヒトデの中心部分。多くのヒトデではこの盤から腕が放射状に伸びる。ヒトデを「人の手」になぞらえた際の手の甲にあたる部分。

論文情報

タイトル：First record of two tropical sea star species from the Kii Peninsula, southern Honshu Island, Japan

著者：Yoichi Kogure* and Isao Hirabayashi *責任著者

雑誌名：*Biogeography*

公表日：2022年9月20日

問い合わせ先 [(a) = @]

○ケムシヒトデの展示とイバラスナヒトデ発見の経緯についてのお問い合わせ

串本海中公園センター 水族館 係長

平林 勲

Tel : 0735-62-4875

E-mail : hirabayashi(a)kushimoto.co.jp

○2種のヒトデ類に関するより詳細な情報や論文に関するお問い合わせ

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

水産資源研究所 水産資源研究センター

海洋環境部 暖流第3グループ

新潟庁舎 主幹研究員

木暮 陽一

Tel : 025-228-0451

E-mail : kogure_yoichi52(a)fra.go.jp